

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (€ユーロ)	日本円	備考
授業料	€8600	130 万円	明治大学の学費(二学期分)
宿舍費	€446×5/€490×5=€4680	70 万円	5ヶ月寮、5ヶ月シェアハウス
食費	€4000	6万×10ヶ月=60万円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	€54.9×2=€109.8	1万6千円	
現地交通費	€75×2=€150	2万2千円	(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	€3600	50 万円	旅行や遊びに使ったお金
被服費		円	
医療費		円	
保険費	€64.78×10=€640.78(ウィーンの保険) 13万(日本の保険)	22 万円	形態:ÖGK/東京海上日動
渡航旅費	€1400	21 万円	往復
ビザ申請費		円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	€24000	356 万円	

渡航関連

渡航経路	
往路 出発地:成田	目的地:ウィーン 経由地:アブダビ
復路 出発地:ウィーン	目的地:羽田 経由地:ヘルシンキ
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:エティハド航空 料金:8万 復路 航空会社:日本航空 料金:13万 ∴合計:21万	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:それぞれの航空会社のホームページ) <input type="checkbox"/> その他()	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:STUWO) <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2 人)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
半年間学生寮(STUWO Strozgasse)、半年間シェアハウスをしていました。学生寮は、ウィーン大学のおすすめ学生寮のリストから見つけました。シェアハウス(BG)は HousingAnywhere というサイトで見つけコンタクトを取りました。	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
学生寮はバスとトイレを2人で共有、キッチンはフロアで共有だったので少々不便でした。他の学生と交流を取れるという面ではよかったです。私の学生寮はあまりなかったですが、他の学生寮(Haus Panorama など)では頻りにパーティーをしていたので、そういう面では学生寮は交流を広げられると思います。シェアハウスは家に他の人と住むので、キッチン洗濯機バスなどがすぐそこにあって便利でした。また、フラットメイトがいるのですごく仲を深める事ができました。学生寮は広く浅く、シェアハウスは特定の人と深く友達を作れる印象です。	

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院、学内の診療所)

- なし
 あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

- なし
 あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？

在留届を出していたので外務省から、ウィーンのデモやストライキなどの情報がメールで送られてきました。犯罪には一度も巻き込まれませんでした。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

家や大学、カフェを含めどこでも問題なくインターネットを使う事ができました。

カフェは Wi-Fi がある場所がほとんどで、よく作業などもしていました。

到着から 15 日間は 日本で使っていた Ahamo を引き続き使用していました(Ahamo は15日間日本と同様に海外でスマホを使う事ができます)。その後は日本のキャリアを続けたまま、Educom で vamos ole という種類の SIM カートを買いました。Semester plan という 6 ヶ月のもので€54.9 でした(1年間滞りだったので、これを2度買いました)。購入時にはハズボートが必要でした。容量もかなりあるのでおすすめせず。ウィーン大学の近くに Educom のお店があるので、そこで頼めば英語で案内してくれます。SIM を差し替えるときに、SIM 解除が必要な機種もあるの、あらかじめ調べておいた方が良いでしょう(iphone13 は元々 SIM 解除してありました)。

Educom の SIM は EU 圏内であればどこでも使用可能でした。

2 度目に買う際は、アプリから購入できました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

最初に日本から両替した現金をいくらか持っていきました。その後 Erste bank で銀行口座を作り、そこに両親から Wise で送金してもらっていました。また、食費などは日本のクレジットカードで支払っていました。銀行口座は、学生証と住民票(Meldezettel)が必要だったのでそれらが手に入り次第開設できると思います。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

- ・スーツ、就活用証明写真、資格の PDF(大学 3 年生で留学しながら就活をする予定の方のみ)
- ・日本食(現地に日本食が買えるスーパーはあるが、値段は高め)
- ・簡易型炊飯器(炊飯器は売っていないので、お米が食べたい人は100均などで売っている電子レンジで炊ける炊飯器を持っていた方が良いでしょう)
- ・化粧品(化粧水や乳液、クレンジングなど)
- ・変換プラグ
- ・荷物はかり(行き帰りや旅行などで、飛行機の荷物制限があることはほとんどなので、あると便利)
- ・洗濯用ネット(寮の場合、洗濯機は共有なので中身を見られたくない人はあると便利)
- ・ジップロック(飛行機に液体を持ち運ぶ時に便利、多分日本の方が安く買える)

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
14 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Demographic Theories, Global Human Capital and Social Change	人口統計、グローバル人的資本、社会変動の導入
科目設置学部・研究科	社会学部
履修期間	冬学期
単位数	4 ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に135分が1回
担当教授	Marc Luy
授業内容	Excelを使って人口統計を学ぶ
試験・課題など	期末試験が一度あり、それで全ての成績が決まります。基本的に記述式の問題で、例えばなぜこの人口に変化が起きたのかの理由を述べよというような形の問題が出ます。教授が試験前に出題されるおおよその分野を教えてくださいました。
感想を自由記入	教授は毎回、前回授業の振り返りをしてくれるので、きちんと一つ一つ確認しながら授業を受けられました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Migration, Urbanisation and Spatial Distribution		移住、都市化、空間分布	
科目設置学部・研究科	社会学部		
履修期間	冬学期		
単位数	4 ECTS		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 135 分が 1 回		
担当教授	Michaela potancokova/ Dilek Yildiz		
授業内容	主にヨーロッパの移民の実態、歴史について		
試験・課題など	期末試験で成績が決まります。TF 問題と記述式問題、計算問題が出題されました。		
感想を自由記入	日本で移民について少し学んでいたもので、今回の授業で、それとヨーロッパを比較できて興味深かったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Business English		ビジネス英語	
科目設置学部・研究科	経済学部		
履修期間	夏学期		
単位数	3 ECTS		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 90 分が1回		
担当教授	Katja Ewa Lang		
授業内容	ビジネスで使える英語と、ビジネスの勉強		
試験・課題など	毎週ビジネス英語の小テストと 200 words くらいのエッセイが宿題として課されました。試験は3つあり、中間、期末と Written test がありました。文法や単語、リスニング、メールの書き方などのライティング問題が出題されました。		
感想を自由記入	隣の人とペアで問題をといたり、ディスカッションしたりする時間が毎回あったので、楽しかったです。将来働く際に使えるような英語も習得できたのでよかったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
INKOM International Communication		インターナショナルコミュニケーション	
科目設置学部・研究科	情報学部		
履修期間	夏学期		
単位数	3 ECTS		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回		
担当教授	Sabine Einwiller		
授業内容	様々な国の PR について		
試験・課題など	期末試験で成績が決まります。全て選択問題でした。		
感想を自由記入	就職活動において PR 業界をみていたので、とても参考になりました。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

マイナビ、ワンキャリア、OpenWork、就活会議、みんな就など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

株式会社電通 PR コンサルティング

基本的に PR 業界を見ていました。英語が使える仕事、自分の性格が強みになる仕事という軸で就職活動をしていました。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

・留学前は 1 社だけ IT 系の夏インターンにいきました。そこから商社やメーカーなども見ていましたが、いまいちピンと来ず、たまたまバイト先の社員さんから PR 業界の話聞き興味を持ち、そのまま PR 業界を中心に本選考を進めました。

・元々留学前から「グローバルに働きたい」「英語を使いたい」というのはあったので、そこは変わらなかったです。

最近だと、どんな職種でも英語を使う機会はあると思うので、もし将来英語を使いたい人は「英語」以外の軸を見つけて就職活動をするといいかもかもしれません。

・私は、留学を通して将来ヨーロッパに住みたいと思うようになったので、一度日本で就職しキャリアを積み、そこから転職していずれ出来ればヨーロッパで就職したいと考えています。その為、そこにつなげることができそうな業界を見ていました。

・就職活動は 3 月あたりから始めました。ES 提出から最終面接まで全てオンラインで行い、日本帰国前に内定をいただく事ができました。留学をしていると就職活動ができないんじゃないかと思っている方は、心配せず是非留学に行ってください！

・日本にいる方が情報が入ってきやすいのは事実です。しかし、周りに就職活動をしている人がいないからこそ、人と比べず自分らしく就職活動ができたかなと思います。

・留学に行くと、今まで出会った事のない様々な人に出会い、新しいことに気付かされることが多いので、留学前とだいぶやりたいことや将来の展望が変わると思います。ぜひ、留学を通してゆっくり将来を考えてみると良いかもしれません。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、
期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	出願、選考
留学開始年	1月～3月	ウィーン大学から入学許可書が届く
	4月～7月	6月寮の契約、航空券購入、保険加入、VISAに必要な書類集め
	8月～9月	渡航、VISA申請
	10月～12月	クリスマスマーケット巡り、旅行、11月VISA取得
留学/帰国年	1月～3月	1・2月期末試験、旅行
	4月～7月	4月旅行、帰りの航空券購入、6月期末試験、7月上旬帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

・この留学先を選んだ理由

私は元々英語が好きだったこともあり、カナダが第一志望でした。しかしそこで落ちてしまい、二次選考でウィーン大学に決まりました。

ただ、実際にウィーンに行ってみるとすごく素敵な国で、本当にウィーンに留学できてよかったなと思っています。英語は普通に通じますし、街並みが綺麗で、安全です。ドイツ語が第一言語で、英語が第二言語にもかかわらず、多くの人が綺麗に英語を話していて、日本人で英語が第二言語になる私にとって、とても刺激になりました。

また、私はゼミで多文化共生をテーマに活動をしていて、多民族国家の国で生活してみたかったこともあり、オーストリアは最適な国でした。

またオーストリアに戻りたいと思うくらい、住み心地の良い国でした。

・ウィーンでの生活について

ウィーンは想像しているよりも小さく、どこに行くにも基本 30 分以内で行けます。トラムや地下鉄が張り巡らされているので、便利です。深夜以降はナイトバスが動いており、土日祝は深夜以降も地下鉄が動いているので、夜も交通手段に困りません。ただ、U6(地下鉄の路線)の駅は夜少し治安が悪いです。移民の方が近づいてきたり、話しかけてきたりして少々物騒なので注意です。

物価は日本に比べると高く、外食すると 1500 円以上はします。食費は日本よりもかかると思います。日本屋(日本食が売っているスーパー)や Nakwon(韓国のスーパー)に、日本の調味料や食品が売っているので、日本食をたくさん持っていく必要はないかと思えます。ただ割高です、、、

都心からウィーン国際空港までは電車が出ており、値段も安く近いので、他の国への旅行がしやすいです。

水は日本と違い硬水なので、最初は髪が傷んだり、肌が荒れたりしました。数週間経つと、身体も慣れて元に戻りました。水はオーストリアの水なので、シャンプーやリンスも日本のものではなく、オーストリアのものを使った方が相性が良く、あまり傷まないかもしれません。

冬はかなり寒いので、暖かいダウンコートは必須です。雪が降るのでブーツなどを持っていくと良いかもしれません。

おしゃれなカフェが至る所にあり、勉強もできるのでぜひ色々なカフェを巡ってみてください。

・アドバイス

偉そうにアドバイスするほどのものではないのですが、留学を考えている人、留学をこれからする人の助けになれば良いなと思いここに残しておきます。

私はウィーンに到着した日から何日かは、「ここで 1 人で 1 年間生活していかなければならない」「何がどこにあるかわからない」「言語もわからない」というような不安から病んでいました笑

でも勇気を出してバディに会ってみたり、色々なコミュニティに入り込んだことで、たくさんの友達ができました。最初は行くのが不安だったスーパーや大学の授業、レストラン、カフェも勇気を出して毎回行っていたら、いつの間にか不安を忘れていました。(私はかなり臆病者でした、、、)

結局は、ちょっとした勇気で物事は変わるんだなと思いました。そう簡単に死ぬことはないし、とりあえず不安でもやってみようという勇気が留学においてすごく大事です。「間違っても良いから授業で発言しよう」「まだあったことない子だけど友達になれるかもしれないし会ってみよう」こういうことを意識した結果、充実した留学生活を送れましたし、自分自身が良い意味でたくましくなりました。なんでもやろうと思えばできるという謎の自信さえ湧いています笑

もちろん留学初日からずっと楽しい人もいるでしょう。ただ、もし何か留学中不安になる時があれば、「なんでもなんとなる」「この不安を乗り越えたら自分は天才だ」というような気持ちで構え、勇気を出して色々行動してみてください。

皆さんの留学が充実したものとなることを願っています。

何か相談があれば、いつでも事務室を通して連絡してください！応援しています。